

私が研修先として二村医院を選んだきっかけは、大学の先輩が入局しており、誘いをうけたのが最初でした。そこから二村医院の存在を知り、開業 80 年という大変長い歴史のある病院できっと研修医としてとても勉強になる病院だと感じました。また、将来の開業を見据え、一般開業医での研修を希望していたこともあり、この二村医院の環境はとても魅力的でした。

しかし研修に入ってから大学病院と開業医の違いに驚かされることになります。

大学に残った友人の話では一日の診療人数は1人から多くて2人。ここでは多い時では200人以上の患者さんが来院され、その中で院長先生のそばでひたすら見学、患者さんとお話、治療の毎日。まだ経験がない中で、無我夢中でついていく毎日。患者さんに厳しいお言葉を頂くこともしばしばで、その度に悔しい思いをして、自分の力不足を実感しました。

そこで励みになったのは、たくさんの先輩ドクターでした。年齢の近いドクターも多いため、色々な励ましや同期との高め合いもあり、孤独ではありませんでしたし、大変ながらもとても充実した日々を過ごせたと思っています。そして研修終了から 3 年経った今では日々たくさんの患者さんと触れ合い、目標を持って治療に取り組んでいます。

二村医院で研修、そして入局して本当に良かったと思うのは、一般開業医でありながらたくさんのドクターがおり、常に意見交換や情報提供が行われていることによって自分も切磋琢磨できる所です。

また、ドクターだけでなく衛生士や助手、受付の中でも代表を作り、週に一回会議の場を設け、常にそれぞれの立場で起きた事や改善した方がいい所を出し合って医院としてのあるべき姿を考え、それを月一回の全体ミーティングでスタッフ全員で意見統一しています。

それによって自分もただ黙々と治療するだけでなく、医療人の在り方、医院の在り方、スタッフとの関わり方など自分が将来院長として仕事をする際にきっと必要になるであろうノウハウを自然と考え学ぶようになります。

時には大学病院など各方面から著名な先生をお招きして、本来なら遠くへ出向いて受講しなければ聞けないような貴重な講演も聞くことができますし、二村医院はこれから研修先を探していच्छる先生方にとってとても実り多い時間を過ごすことができる場所だと思います。

ただもちろんですが、自分で勉強し成長する意思がなければ全く無意味なのは二村医院でも同様ですし、私ももっと研修医時代に聞いておけば学んでおけばよかったと思うことは多々あります。

また、医療の世界ですから当然様々な悩みを持った患者さんに直面して戸惑うことも悩むこともあると思います。

ですが周りは同じような苦勞をさらにたくさん経験してきた先輩ばかりですし、必ず力になってくれます。研修医のうちからたくさんの患者さんに触れ、そして色々な症例に揉まれながらも成長するんだという意思のある先生なら、この二村医院という環境はとても素晴らしいものになると思います。

是非一緒にがんばりましょう！